

## 「秋田雨雀」

秋田雨雀（本名 徳三）は、明治 16 年 1 月 30 日に南津軽郡黒石町に生まれました。

黒石尋常小学校、青森県第一尋常中学校（現在の弘前高等学校）から東京専門学校（現在の早稲田大学）英文科に進学。在学中に新体詩集『黎明』を自費出版したり、卒業と同年に発表した処女作『同性の恋』が島村抱月に認められ、小説を書き始めるなど、生涯にわたって幅広く創作を続けました。

詩人、劇作家、社会運動家など、多くの顔をもった雨雀でしたが、中でも特に力を入れていたもののひとつが、児童文学です。大正 10 年発行の童話集『東の子供へ』や『太陽と花園』をはじめとする、数多くの児童文学を発表しています。また、昭和 25 年には、小川未明の後を継ぎ、日本児童文学者協会の二代目会長となっています。

紙芝居『鶴の湯物語』は、雨雀の地元黒石市ゆかりの作品。残念ながら青森県立図書館では所蔵がありませんが、平成 24 年 8 月 12 日に、近代文学館ロビーにて、実演会を行いました。



『日本名作童話紙芝居全集（14）鶴の湯物語』  
原作/秋田雨雀 脚色/大川秀夫 画/中谷泰  
製作：教育画劇 1954（秋田雨雀記念館蔵）

## 「鶴の湯伝説」

青森県内には、傷ついた動物が湧き湯で傷を癒したという伝説が各地に残っています。黒石市の温湯温泉に伝わる、「鶴の湯」の伝説もその一つです。

その昔、温湯温泉の辺りは葦原でした。ある日、すねを痛めた 1 羽の鶴がその葦原に舞い降り、程なくして快癒して飛び去りました。それを見ていた神山石沖<sup>うちゅう</sup>という人が、付近の葦を刈ってみたところ、こんこんと湧き出る湯を見出した、と伝えられています。その湯は、山仕事に携わる山子達の病をたちどころに癒やしてくれたのだとか。村人達は喜び、この湯を「鶴派立<sup>つるはだち</sup>の湯」とか「鶴の湯」と名付けたのだそうです。

鶴の湯は、歌にも残されています。

「雪の上に 聞えあげばや 蘆田鶴の  
いえし 温湯<sup>いってゆ</sup>の しるき しるしを」

これは、寛永年間に湯治にやってきたといわれる、花山院藤原忠長<sup>かざんいんふじわたただながきょう</sup> 卿が詠んだとして伝わっています。

[参考文献]

『浅瀬石川郷土志』、『青森県百科事典』他

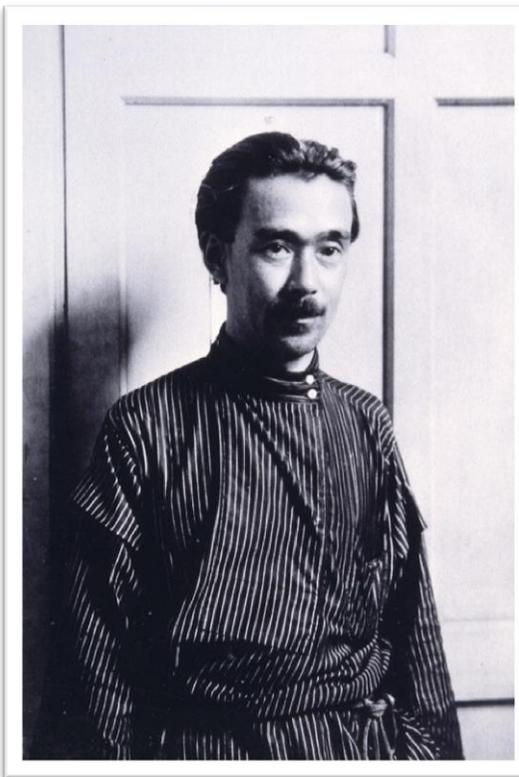
## 青森県立図書館 参考郷土室

〒030-0184  
青森市荒川字藤戸 119-7  
電話：017-729-4311  
FAX：017-762-1757  
<http://www.plib.pref.aomori.lg.jp>

## 秋田雨雀と黒石 ～ 鶴の湯物語 ～

青森県近代文学館 特別展「鳴海完造と秋田雨雀」

（平成 24 年 7 月 14 日～9 月 9 日）



秋田雨雀  
黒石市出身

1883（明治 16）～1962（昭和 37）

青森県立図書館 参考郷土室

2012（2015改） & 

# 秋田雨雀と黒石 ～ 鶴の湯物語 ～

タイトル	著者・編集者	出版社	出版年	ラベルの記号	本の番号
鳴海完造と秋田雨雀 特別展図録 深く広く不屈の才能のつながり	青森県近代文学館/編	青森県近代文学館	2012	郷土910.67オモリク	10215829840
こけし時代 創刊号 特集 津軽 こけしトリップ! 日本少女の旅		こけし時代社	2011	郷土759.9カサジガイ(1)	10213284383
イザベラ・バード『日本奥地紀行』を歩く 楽学ブックス 文学歴史 11	金沢正脩/著	JTBパブリッシング	2010	291.09カサジガイ	10214053298
弘前・黒石・平川・中南津軽今昔写真帖 保存版 弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・大鰐町・田舎館村・西目屋村 青森県文学碑探訪	三浦行一/監修 鈴木廣/編著	郷土出版社 日本教育公務員弘済会青森県支部	2009 2008	郷土212A32カサジガイ 郷土910.29スギキ	10213261336 10215550571
"秋田雨雀"紀行 1905-1908	工藤正廣/著	津軽書房	2008	910.268アキタウ	10213241745
黒石ものしり話 黒石分知三百五十年記念		[黒石ものしり編集部]	2005	郷土212A32カサジガイ	10215310407
黒石市50年の歩み 市制施行50周年記念誌	黒石市企画財政部まちづくり推進課/編集	黒石市	2004	郷土212A32カサジガイ	10212968611
秋田雨雀展 特別展 日本社会の良心として生きたい	青森県近代文学館/編集	青森県近代文学館	2002	郷土910.67オモリク	10215423796
車で行ける名湯秘湯 東北編 2002年版 JAFドライブガイド		JAF出版社	2002	291.093 カサジガイ(2002)	10212721142
わたしたちの黒石 第2集 黒石の産業と生活 (pp68-83「六 温泉郷とその周辺の昔と今」)		黒石市民財団	2000	児郷212A32カサジガイ(2)	10215687640
わたしたちの黒石 第1集 黒石のむかし (pp48-51「秋田雨雀と子どもたち」)		黒石市民財団	1999	児郷212A32カサジガイ(1)	10215687628
くろいし探訪 文化財・文学碑めぐり	黒石市教育委員会/編	黒石市	1993	郷土291A32カサジガイ	10211027926
隔月刊あおもり草子 第72号	企画集団ぶりずむ/編	企画集団ぶりずむ	1992	郷土0517オモリク(72)	10215331296
黒石人物伝	黒石人物伝編集委員会/編	黒石市教育委員会	1991	郷土281A32カサジガイ	10201127988
雨雀自伝 近代作家研究叢書	秋田雨雀/著	日本図書センター	1987	竹内910.26カサジガイ(46)	10201238859
黒石 ふるさとのあゆみ	山上笙介/編	津軽書房	1981	郷土212A32カサジガイ	10200991074
浅瀬石川郷土志	佐藤雨山・工藤親作/共編	歴史図書社	1976	郷土212A32カサジガイ	10215331165
青森県温泉風土記	松村慎三/著 斎藤祐司/写真	北の街社	1970	郷土291A09カサジガイ	10212453429
黒石百年史	鳴海静蔵/著	黒石市	1962	郷土212A32カサジガイ	10201535051
東北温泉風土記	勝平得之/画 石坂洋次郎/編	日本旅行協会	1940	郷土291A09カサジガイ	10200256244

こちらのサイトもおすすすめです。

黒石市 <a href="http://www.city.kuroishi.aomori.jp/">http://www.city.kuroishi.aomori.jp/</a>	黒石市のHP。文化財のページには、秋田雨雀も紹介されている「黒石人物伝」のページがあります。主要参考文献や歴史年表も掲載されているので、黒石ゆかりの人物について、深く触れることができます。
一般社団法人 黒石観光協会 <a href="http://kuroishi.or.jp/">http://kuroishi.or.jp/</a>	黒石観光協会のHP。黒石市の歴史や、見所などの情報が盛りだくさん。津軽こみせ駅の3階にある、秋田雨雀記念館のページもあります。

※紹介している本は、多くの資料の一部です。お探しの資料が見つからない場合には、職員にお尋ねください。